

# 2011年度 日本文化人類学会

## 総会議事録

日時：2011年6月11日(土) 14:00～15:15

会場：法政大学市ヶ谷キャンパス 外濠校舎 6F/7F 薩埵(さつた)ホール

議長：小馬徹 議事録確認者：東賢太郎、斎藤剛

### 〔議題〕

1. 2010年度事業報告について
  - ・綾部真雄庶務担当理事より別紙の通り報告があり、承認された。
2. 2010年度決算について
  - ・森山工会計担当理事より別紙の通り報告があり、承認された。本会計収入・支出項目の表記、ならびに将来計画基金と本会計との間の組み入れ等の措置に関して質問があり、会計理事が現状とその趣旨を説明した。この件では会計専門家の意見を参考にしてはどうかとの提案があり、検討することとした。
3. 日本文化人類学会の東日本大震災への対応について
  - ・渡邊欣雄会長より、東日本大震災への学会としての対応について、緊急対応、情報の収集と配信、具体的な施策の検討と実施、今後の検討課題の4点が報告された。
4. 被災会員の会費特例措置(案)について
  - ・森山工会計担当理事より東日本大震災によって被災した会員に対する2011年度会費徴収特例措置(案)について説明があり、審議の結果、承認された。
5. 2011年度事業計画(案)について
  - ・綾部真雄庶務担当理事より別紙に基づき報告があり、審議の結果、承認された。
6. 2011年度若手支援策(案)について
  - ・文化人類学教育特別委員会委員長の鏡味治也理事より、波平基金を活用した若手支援策である「次世代育成セミナー」の開催(案)について経緯と内容の説明があり、波平基金の用途に関する質問に対し、基金の趣旨と本セミナーの趣旨、学会の会計状況等について追加説明を行った上で、審議の結果、承認された。
7. 2011年度予算(案)について
  - ・森山工会計担当理事より別紙の通り報告があり、承認された。
8. 課題研究懇談会の設置(案)について
  - ・研究グループ制導入検討委員会委員長の関根康正理事より、課題研究懇談会の設置(案)について別紙に基づき説明があり、審議の結果、承認された。
9. その他
  - ・春日直樹会員(一橋大)より、研究大会2日目の昼休みに東日本大震災に関するシンポジウムを開催すること、このシンポジウムが学会の支援を受けない非公式の形式をとるものであることが報告され、これに関連し、学会として震災対応のシンポジウムを研究大会の場で実施しようという動きがなかったのかどうか、質問が出された。これに対し、研究大会発表に査読制を導入している学会の立場からは、査読を経ないシンポジウムを公式にはサポートできないこと、11月に学会の主催で震災に関連した公開シンポジウムを開催する予定であることが説明された。
  - ・岸上伸啓会員(国立民族学博物館)より、来年度共同研究会の公募予定、今年度

の民博若手研究奨励セミナー（2011年11月30～12月2日）の発表者公募（9月30日まで）『大学のためのみんぱく活用マニュアル』、本学会会員に対する入館料の無料化（学会員証の提示が必要）の4点について案内があった。

- ・木村周平会員（富士常葉大）より、研究大会2日目の昼休みに若手研究者の懇談会を開催すること、春日直樹会員から紹介のあったように、その後半で災害について語り合う場を設けることがアナウンスされた。

以上